

平成33年度(2021年度)入試における情報理工学域入学者選抜の  
基本方針等について (予告)

本学は、今年12月8日、100周年を迎えるにあたり、国際的な視野に立った幅広い連携・協働を推し進め、世界から認知される大学として、持続発展可能な社会の構築に寄与する新たな価値の創造とイノベーションリーダーの養成を推進します。その実現に向け、価値創造のための不可欠な基盤として「D=ダイバーシティ(多元的な多様性)」を尊重し、「C=コミュニケーション(相互触発、連携・協働)」を大局的行動指針とし、「I=イノベーション」の持続的創出を目指す、「D・C・&I. 戦略」構想に基づき、研究力の強化と教育の一層の充実を推進します。

こうした構想のもと、教育面では、確かな学力のもとに、広い視野と協調性を持ち、主体的に学修に取り組むことのできる人材の確保・育成が不可欠です。

本学では、かねてより、大学入学以前の学びの成果を基に、学生が段階的・探究的に学修を積み重ねる「学修者主体」の体制整備を進めて参りました。

平成32年度に実施する平成33年度入試からは、更に取り組みを推進し、以下1、2、3に基づいて入学者選抜を実施する予定です。

1. 「学力の三要素」を踏まえた「多面的・総合的」評価の推進

- (1) 一般選抜、学校推薦型選抜に加えて、総合型選抜を新たに実施します。
- (2) 総合型選抜では、高校での主体的な活動や、高大接続型の事前スクリーニングでの積極的な活動等を重視します。

2. 大学入学共通テストの活用

一般選抜において、「大学入学共通テスト」を利用し、現行同様に5教科7科目を対象とします。新たに導入される、大学入学共通テストの記述式試験結果(国語、数学)もあわせて活用します。

3. 英語の4技能評価／「認定試験」の活用

英語の4技能を評価するため、一般選抜において、英語の「認定試験」(資格・検定試験)、および、新たな共通テストの中で実施される英語試験を併せて活用する予定です。

※今後の公表予定

平成30年度内に入学者選抜の具体的な内容を公表する予定です。

【本件担当】

副学長(入試・広報担当) 椿 美智子  
学務部入試課長 菊地 桂二

【問合せ先】

学務部入試課 042-443-5101